

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ジョイーレ本千葉		
○保護者評価実施期間	2026年2月3日		～ 2026年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15 (回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2026年2月3日		～ 2026年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・支援の内容を一緒に考えられること	・朝会や支援後にどのような様子が共有している	・朝会の間に終わらなかった話し合いについてはそのままにせず話し合いの場を設けていく
2	・スケジュールボードを利用している	・視覚的にも理解できるようにしている	・必要な時にはイラストを使っていく
3	・おもちゃや絵本が整っている	・おもちゃの分類ごとに分けている	・職員全員がどこになんのおもちゃがあるのか把握できるようにしていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・送迎に時間を取られてしまうこと	・ドライバーが少ない ・土地柄渋滞が多い	・採用活動を継続して行う ・交通ルートを再度検討していく
2	・利用者の共有が不足していること	・伝える時間を作ることができていない ・支援や記録のことであわたしくなってしまう	・5分でも共有する時間を毎日作っていく ・分担できるところは分けていけるようにする
3	・支援内容の幅が狭いこと	・支援の内容を考える時間が足りていない	・本やネットで調べながらどういう支援があるか調べ、共有できるようにする ・周りの人の支援を少しずつ真似して引き出しを増やしていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ジョイーレ本千葉

公表日 2026年3月30日

利用児童数 15

回収数 10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	2				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	2		1	児童と、児童の相手をする職員が、1対1なのが 良い	ご意見有難うございます。 個別療育をしっかりと今後も行わせて頂 きます
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	2	1	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	1		1		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	10					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	9			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	9	1				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具 体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	1		1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	10					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	3	2	3	2		
保	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	10					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー ニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	3	2	1	4		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	9	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1				

護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	3	3		
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	1		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	1	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	2				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	1	1	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	2		4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	10					

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年3月30日				
ジョイール本千葉						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		いない机はすぐに端っこに片付け、広々使えてると思う		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	困った時に相談できる人がもっといたらいいと思う	相談できる雰囲気づくりも同時に必要	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・来所時ルーティーンのスケジュールがある ・おもちゃは元の場所に返し、いつでもすぐに遊べるようにわかりやすくしている	より分かりやすく改善をしています	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・トイレ掃除、机の上の清掃が行き届いている ・暖房を調整したり、加湿器をたいて、温度計で管理できている		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・周りから見えない部屋がある ・必要な時にはロールカーテンを閉めて個別の部屋を用意し、支援できている		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	3		さらに情報共有できるような環境を整えていく	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		・まだ保護者の評価等についてわからない部分がある	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・気になるところは逐一話し合う場を設けている ・業務の中で空いている時間に職員同士で話し合いができています		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4		現在行っていない	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・研修がある時にはお知らせをしてくれている ・時折送られてくる研修を受講できている		
適切	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1		・子どもたちの支援内容について振り返る必要があると感じたため、今後振り返りながら必要な支援を考えていく ・また職員同士の意見交換を活発に行っていく	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	2	2	・計画の部分には携わっていないが、職員間で情報共有ができています	・疑問に感じたことを質問しないままになっていたため、今後は気になることは質問していく	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	2	・職員で話し合いをし、支援計画を立てることができていると思う		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・毎回計画に沿って、アセスメントをしながら支援を考えている		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			・もっとツールを活用していく	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4				

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・朝会等でどのような内容が必要か話し合うことができている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・前回の記録等を見ながら次回の支援を考えている ・常に前の記録を見ながらなるべく被らないようにしている ・飽きないで継続できるよう内容を工夫している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		・集団での遊びが必要だと感じた時は、支援員と相談しながら進められている ・時間が合う時にはカルタやすごろくを集団で行なっている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・支援で行う内容や意図を理解し、周りも合わせていくことが出来ている ・朝会で支援内容を確認し、アドバイス等を合している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	記録を通して、または支援について話し合いをし、振り返りができている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・毎回記録を読みやすいようにわかりやすく書いている	・利用者情報のグループLINEでより詳しく共有出来るようにしていく
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1	・朝会で計画を確認し、今適切な計画であるのかも含め話し合っている	・半年とは限らず変更の必要があれば都度、個別支援計画を変更していく
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	2		・支援等で参加できていないため、参加できる機会を作っていく
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		・園や学校でどのような姿なのかもっと共有してもいいと感じた ・訪問支援を利用している場合は、連携は出来ているが利用していない園や学校とも連携をとっていく
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1		・支援に役立てるためにもっと密に情報のやり取りができるようにした方がいい
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1		・就学時には、関係機関等と支援内容などの連携をしていきたい
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	1	・保護者がわかりやすいように記録を通して共有できている	・記録でのやり取りのため、必要ところは電話での連絡等で伝えられる機会が増えるといいと思う
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		4		・検討していく	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4				

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			・支援員等に話を聞く機会も設けていく
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3	1		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			・必要な時は電話連絡をしているが、実際に会って話したり、子どもを見ながら話す機会があってもいいと感じた
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3		・同じ境遇のお話ができる機会があるのはお互いの活力になるかもしれないため、今後検討していく
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	1	連絡があった際にはすぐに返事をし、適切に対応できている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	1	SNSを通じて発信できている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		職場外には個人情報は持ち込まないようにしている	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		記録を書く際に保護者がどう思うかを一番考え、書いている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		・月に1回行うようにしている	・津波や、地震、火事など色々な場面を過程できる機会を増やしていったほうがいいと感じた
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		・てんかんがある場合どのように進めていくのかボードに記している ・利用者情報を通して職員間で共有できている	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		・イベント等では、アレルギーの含まれていないものを用意している。 ・利用者情報を通して職員間で共有できている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	・安全計画は見たことがないが、安全管理はされている	・研修や訓練は足りていないかもしれない
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		緊急連絡先や、お迎えの対応について共有できている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・ヒヤリハットが起きた時、今後のことについて朝会で話し合いができています	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1		身体拘束は基本行わないのが原則であり、今身体拘束の話をしている保護者、子供たちはいません